

評価担当者	課名	氏名	内線
	秘書・総合政策課	平山博造	2110

コード	Ⅱ-6-12	施策名	「うすき暮らし」の推進
施策の方針	臼杵に魅かれ暮らす人を増やす		
まちづくりの方針	地域の輪で心がかよい、市民が集うまち(地域の絆)		
施策の目的	人口減少と少子高齢化が進み、若年層を中心に中大都市部への人口流出が多い状況の中、臼杵市を持続可能で活力あるまちとするためには流入人口の増加、定住人口の増加を図る必要があります。その実現のため臼杵の魅力や臼杵での暮らしがイメージできる情報発信、定住促進に欠かせない生活環境の充実や移住者への移住支援、支援体制の充実を図り、移住・定住を促進します。		
施策の内容	○臼杵の暮らしがイメージできる情報発信(・都市部での移住相談会・移住定住ガイドブック作成・移住希望者向けモニターツアーの開催) ○移住定住サポート(・庁内横断的連携による移住定住相談対応・地域おこし協力隊の採用・空き家バンク制度・移住者居住支援・仕事情報ホームページの運営、移住体験事業の実施)		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					H31目標 上段:当初 下段:現在	
			単位	H26	H27	H28	H29		H30
○	移住相談会・フェア出展回数	都市部で開催される相談会、フェアへの年間の出展回数	目標		15	15	15	15	15
			実績	回	3.00	12	17	15	
			達成率	%	-	80.0%	113.3%	100.0%	
	臼杵の体感機会を訪れた人数	移住希望者向けモニターツアー参加者の年間人数	目標	人	50	50	50	70	50
			実績		14	37	31	64	70
			達成率	%	-	74.0%	62.0%	128.0%	
	移住者数	移住相談、移住者居住支援事業申請において把握した年間移住者数(移住相談対応、モニターツアー参加者数)	目標	人	40	50	50	250	40
			実績		26	172	203	266	280
			達成率	%	-	430.0%	406.0%	532.0%	
○	空き家バンクの成約件数	空き家バンク登録物件の年間の成約件数	目標	件	10	10	10	30	10
			実績		3	18	22	22	30
			達成率	%	-	180.0%	220.0%	220.0%	
	アグリ起業学校生徒数	アグリ起業学校の体験生徒数(累計)	目標	人	12	12	16	19	15
			実績		3	8	12	17	22
			達成率	%	-	66.7%	100.0%	106.3%	
	市内の企業や事業所に雇用された移住者数	移住者のうち就労の支援を行って、仕事に就いた者の数(累計)	目標	人	5	20	50	80	25
			実績		5	23	42	73	110
			達成率	%	-	460.0%	210.0%	146.0%	
	地域おこし協力隊の受入れ実人数	地域おこし協力隊の受入れ実人数(累計)	目標	人	4	6	9	11	12
			実績		2	4	7	10	13
			達成率	%	-	100.0%	116.7%	111.1%	
指標の分析		<ul style="list-style-type: none"> ・相談会フェア出展については、臼杵への移住者、地域おこし協力隊も参加し臼杵の暮らしを発信するなど、回数、内容とも必要な情報発信が実施されました。 ・モニターツアーの参加者については、移住情報誌等に広告を掲載させるほか、移住相談会等の場で積極的に呼び掛けを行い、目標数に達し、参加者に寄り添った丁寧な対応も行うことができました。 ・移住者数もこの3年間高い水準で着実の伸びている。移住者の増加に伴い、空き家バンク成約も当初の想定よりも高い成約件数となっている。 							

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度	満足度
市民意識調査結果(H29調査)	維持領域	2.34	1.64	
	・平成29年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とも高く、「維持領域」に位置しており、取り組みの維持・継続が望まれています。			
市民意識調査結果分析	少子高齢化・人口減少が進む中で、移住施策の重要性が市民の方に認識いただいていると捉えています。移住者数が着実に伸びていることや市内外へ「うすき暮らし」の発信ができていていると捉えています。			

<次年度以降の課題>

平成30年度以降の課題	移住の専門誌「田舎暮らしの本」の住みたいまちベストランキングで上位になったことにより、全国放送や新聞に取り上げられ、注目を集めています。増加する移住相談に対し、これまでの丁寧な対応を維持するとともに、より不安や悩みに対応できる体制を充実させ、移住者の増加とその後の定住の促進につなげて行く必要があります。支援内容については、移住希望者がより移住しやすい環境や支援を検討していくとともに、若者を中心とした市外への流出を抑制する施策のついても引き続き検討を行っていきます。
-------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				H28年度実績	H29年度実績	H30年度見込み			
1 移住定住促進事業	移住相談・サポート 都市部での相談会・フェア出展 移住ガイドブックの作成 モニターツアー開催 就職支援サイト運営 移住お試しハウスの設置 定住支援員の設置 移住者店舗等開設補助金ほか補助支援	秘書・総合政策課	○	11,865	19,793	20,749	重点継続	○	
2 地域おこし協力隊	都市部からの人材の受入れ ◆業務内容(一般隊員) ①移住支援と定住促進 ②地域振興協議会(地域コミュニティ組織)の地域づくり活動の支援 ③周辺地域の小規模集落の応援、グリーンツーリズム活動の支援	秘書・総合政策課	○	15,373	25,309	22,177	重点継続	○	
3 空き家活用事業補助金	空き家バンクに登録された物件の成約時の改修等の補助金	都市デザイン課		4,415	5,051	12,400	重点継続		II-6-12
4 定住促進事業補助金	移住者に対する移住奨励金・引越費用等の補助金	都市デザイン課		37,179	42,038	50,000	重点継続		II-6-12
5									
6									
7									
合計				68,832	92,191	105,326			

<施策の今後の展開 ～担当課長評価>

進捗状況	人口減少が進行する中、さまざまな移住定住施策が評価され、田舎暮らしの本にて住みたい町ランキングで総合3位に選ばれました。予想以上の反響を呼び、全国TV番組等に取り上げられ、2～3月にかけて問い合わせが急増し、空家不足の状況の中、前年以上の移住者数を確保できました。引き続き移住定住施策を拡充し本市の魅力をより一層情報発信する必要があります。	課長評価
順調		最重点施策であり、来年度強化する

<施策の今後の展開 ～内部評価(内部検討会)>

進捗状況	人口減少が進行する中、さまざまな移住定住施策が評価され、田舎暮らしの本にて住みたい町ランキングで総合3位に選ばれました。予想以上の反響を呼び、全国TV番組等に取り上げられ、2～3月にかけて問い合わせが急増し、空家不足の状況の中、前年以上の移住者数を確保できました。引き続き移住定住施策を拡充し本市の魅力をより一層情報発信する必要があります。	内部評価
順調		最重点施策であり、来年度強化する

<臼杵市行財政活性化推進委員会による外部評価：最終>

評価のコメント	外部評価
臼杵市は、移住の受入れについては順調。今後は定住してもらうために必要なことも併せて考えていく必要があるため、「強化」とする。	強化

<臼杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

田舎暮らしの本の「住みたいまちベストランキング」の上位を維持することで、効果的な情報発信を行い、移住定住の増に積極的に取り組んでいきます。